



“一丁^{いっちょ}噛^{かみ}” が行く！

第81回：温暖化

今年のお正月、京都市は 1954 年以来 61年ぶりに積雪が20センチを超える22センチの大雪となりました。元日から二日にかけて降った雪で、いろいろと影響を受けられた方も少なくなかったのではないのでしょうか。62年ぶりの大雪と言われても、その当時の記憶はありませんが、確かに子供の頃は 10cm 以上雪が積もることはそんなに珍しいことではなく、あちこちで大人の人がクルマにチェーンを巻いている姿を見たものでした。それから何十年も経って近年はそんなに積もることもなくなり、昨年末に友人と『子供の頃はよく積もったけど、最近は積もらへんね。やはり地球温暖化のせいやろか』と話していたところでした。

温暖化が進んでいるのに今年の雪は異常なくらい降りました。何故かなあと思っていたら、こんな記事に出会いました。『地球温暖化の進行により、直感的には厳しい寒さを記録する日が少なくなりそうに思われますが、2013～2014年の北半球の冬は日本や北米東部は厳しい寒さに見舞われ、北米の五大湖の凍結や山梨県甲府市に観測史上1位の積雪をもたらしました。近年は、特に北半球のユーラシア大陸上が寒い冬を迎えることが多く、北極海の海氷減少がその要因であるとする研究が数多く発表されています。』と。温暖化の影響による異常気象と共に異常な寒さも各地で発生しているということのようです。

そういえば、昨日の産経新聞に『温室効果ガスの二大排出国の米国と中国が昨年11月に発表した削減目標を達成したとしても、地球温暖化によって今世紀末の世界平均気温は3度上がるとの分析結果を、科学者らによる非政府組織「クライメート・アクション・トラッカー」が24日までに発表した。』と載っていました。平均気温が3度上がればどうなるかということは知られています。将来の子孫のために本当に真剣に、それぞれの国益ではなく地球規模で対策を考えてもらいたいものです。そして、些細なことでも自分でなにができるかを考えて、できることを少しでもやるように心掛けることも必要ではないでしょうか。

TOPICS

下記のフェアに、生産管理システム『Assist』を出展・展示します。是非、ご来場下さい。

『Assist』は今月号の読者訪問でお伺いした応用板金様様でお使いいただいているシステムです。

関西学研都市 ビジネスマッチング 2015

日時 2015年 2月 4日(水)、5日(木) 10:00～17:00 (5日は16:00まで)

会場 けいはんなプラザ イベントホール (京都府相楽郡精華町光台1丁目7)

主催 京都府商工会連合会

ブース NO 25

京都ビジネス交流フェア2015

日時 2015年 2月 18日(水)、19日(木) 10:00～17:00

会場 京都パルスプラザ (京都府総合見本市会館) (京都市伏見区竹田鳥羽殿町5)

主催 京都府・公益財団法人 京都産業 21

ブース NO A-19

生産管理システム勉強会

裏面の読者訪問でお伺いした井形社長様もお越しいただいた生産管理セミナーです

テーマ「小規模な製造業における
生産管理のあり方」

講師 ㈱デジック
代表取締役 上野 雅弘 氏

日 時：2015年 2月25日(水) 14:00～16:00

場 所：まちの駅 クロスピアくみやま (京都府久世郡久御山町森南大内303)

※駐車場はありますが数に限りがあります。満車の場合はご容赦下さい

参加費：無 料 (参加ご希望の方は 0774-63-1131 までお電話下さい)

Presented by Sys:port corp.



お伺いした会社 応用板金株式会社
 お話を伺った方 代表取締役 井形 義治 様
 事業内容 産業用電子機器の精密板金加工、筐体及び機構部品の製作
 会社の所在地 〒610-0101 京都府城陽市平川中道表 69-7
 連絡先など TEL:0774-56-2222 FAX:0774-55-6070
 U R L http://www.oyoe.co.jp/oyobankin/

今回は京都府城陽市にある応用板金さんをお訪ねしました。

同社は応用電機(株)[電子・光学を応用した測定・計測機器、メカトロ機器、医用機器の開発、設計、製造]の板金工場として平成13年に別会社として独立創業されました。応用電機さんでは平成元年頃から事業部を立ち上げて板金加工を内製化してこられましたが、板金加工工場として更なる発展を目指して、分社されたとのことでした。

現在では親会社である応用電機さんからの受託のみならず他社への事業展開もされており、ほぼ半々の売上状況になってきたそうです。事業拡大のために移転計画中であり、他社への拡販も推し進めていきたいと井形社長はおっしゃっておられました。



当社との関わりは、現在弊社が積極的に取り扱っている(株)デジタル社製の生産管理システム『Assist』の導入をご検討いただいたときに始まります。2013年4月に弊社ははじめて『生産管理セミナー』を開催したときに井形社長自らご参加下さいました。

同社でのパソコンの活用はMS-DOS時代にPC9801でTheCARD3というソフトを使って図面管理などをはじめたのが最初だそうです。



工場の外観



各種板金製品

その後、生産管理などをするために自社で作ろうということになり、パソコンに詳しい社員さんが「板金くん」と名付けたソフトを作られたそうですが、最終完成の前に退社されてしまっていて、仕方がなく未完成のまま使っておられたそうです。なんとか、不便を感じながら使っておられたそうですが、進捗管理まではできず、また加工書や作業指示書は紙ベースのままで、現場と事務所を行ったり来たりする日々が続いていたとおっしゃいます。

生産管理、特に外注管理や進捗管理をパソコンを使ってしっかりやりたいと、いろいろなシステムを探しているときに当社の『生産管理セミナー』があることを知りご参加下さいました。

使っている工作機械メーカーのシステムとかいろいろなソフトを検討されたそうですが、比較的大きな企業向けのものが多く、なかなか自社にフィットしたものに出会えなかったとおっしゃいます。

「『Assist』は当社のような比較的小さな会社でも使える非常にすぐれたシステム」だにご評価いただき、昨年ご導入下さいました。

まだまだAssistの機能を十分活かしきれていないところもありますが、着実に社内管理の仕方を改めていき、作業効率のアップと各種管理の充実を図っていきたいとおっしゃっています。

他社への事業展開を更に進められて事業規模が拡大していても、『Assist』の活用で各種の管理がスムーズに、かつ着実にできるようになり、業務の効率化と収益の向上に寄与できますことを願っております。

😊 シリーズ奮戦記

スポーツの販売管理システム(😊シリーズ)は、基本パッケージをベースに、いろいろな業種・業態に合わせてカスタマイズしてご提供する“イージーオーダー型”のソフトウェアです。あらゆる業界で活躍している😊シリーズの一部をご紹介します。

使っていただいている業種・業態

・競走馬育成牧場

馬主から預かった競走馬をレースに備えて育成・養成をされている牧場です。

ベースとなった😊シリーズ

はんぱい😊sp

導入のポイント

- ・預かった期間に発生するトレーニング状況や体調などの管理や、蹄鉄の交換、治療費など立替金の管理を一元的にしたいというニーズにお応えしました。
- ・馬ごとに、馬主の情報がわかるようにしたいとのこと希望に添うようにしました。
- ・トレーニング内容をカレンダー画面で入力したいとのこと希望にお応えしました。

カスタマイズと運用のポイント

- ・入厩から退厩までをカレンダー画面で入力することで預託料を自動計算(日数管理)します。併せて、トレーニング内容も入力できるようにしました。(視覚的に把握がしやすくなりました。)
- ・当該日数を計算して請求書を発行する場合、通常だと請求時に日数集計をしなければならず業務の手間が増えますが、日々入力ができるため請求時期の負担が軽減できるようになりました。
- ・トレーニング内容の日ごとの明細も、システムから簡単に発行できるようになりました。

業種的には特殊ではありますが、諸々の作業を一元管理して定型業務をシステム化することによって、請求時はもとより各種の事務作業の負担を大幅に軽減できました。販売管理ソフトを使ってこんなことまでできるという事例かと思います。